

Sakai D, Mochida J, Yamamoto Y, Toh E, Iwashina T, Miyazaki T, Inokuchi S, Ando K, Hotta T.	Immortalization of human nucleus pulposus cells by a recombinant SV40 adenovirus vector: establishment of a novel cell line for the study of human nucleus pulposus cells	Spine	29(14):	1515-23	2004 Jul
Yamamoto Y, Mochida J, Sakai D, Nakai T, Nishimura K, Kawada H, Hotta T	Upregulation of the viability of nucleus pulposus cells by bone marrow-derived stromal cells: significance of direct cell-to-cell contact in coculture system	Spine	29(14)	1508-14	2004 Jul
酒井大輔, 中井知子, 持田譲治	幹細胞から髄核, 線維輪細胞への in vitro での誘導に関する研究	日本脊椎脊髄病学会雑誌	15 巻 1 号	127	2004. 05
酒井大輔, 持田譲治, 山本至宏, 岩品徹, 宮崎武志, 西村和博, 野村武	変性椎間板内に移植された間葉系幹細胞は増殖, 分化し, 髄核細胞マーカーを発現する	日本脊椎脊髄病学会雑誌	15 巻 1 号	125	2004. 05
山本至宏, 酒井大輔, 宮崎武志, 岩品徹, 中井知子, 西村和博, 持田譲治	間葉系幹細胞との細胞間接着共培養法により活性化した髄核細胞再挿入術の検討	日本脊椎脊髄病学会雑誌	15 巻 1 号	124	2004. 05
武政龍一, 谷俊一, 北岡謙一, 喜安克仁, 山本博司	骨粗鬆症性椎体偽関節による遅発性脊髄・神経麻痺に対するリン酸カルシウム骨セメントを応用した脊柱再建術	中国・四国整形外科学会雑誌	16 巻 1 号	115-121	2004. 05
武政龍一, 山本博司, 谷俊一, 北岡謙一	骨粗鬆症性椎体骨折の治療, 生体活性リン酸カルシウム骨セメントの椎体内注入補填による骨粗鬆症性椎体骨折修復術	日本整形外科学会雑誌	78 巻 5 号	237-242	2004. 05
辻崇, 千葉一裕, 今林英明, 藤田貴也, 三尾太, 戸山芳昭	家兎椎間板の TIMP-3 発現における加齢性変化,	日本整形外科学会雑誌	78 巻 8 号	S1093	2004. 08
Yamazaki S, Ichimura S, Iwamoto J, Takeda T, Toyama Y	Effect of walking exercise on bone metabolism in postmenopausal women with osteopenia/osteoporosis	J Bone Miner Metab	22(5)	500-8	2004
市村正一, 宮本隆, 里見和彦	整形外科疾患における骨代謝マーカーの応用 骨粗鬆症における骨代謝マーカーの適正使用について	東日本整形災害外科学会雑誌	16 巻 3 号	449	2004. 08

市村正一, 宮本隆, 長谷川雅一, 里見和 彦	骨代謝マーカーを用いた骨 粗鬆症治療の効果判定 骨 密度から骨折予測まで 骨 代謝マーカー測定値の施設 間差・変動について	Osteoporosis Japan	12巻2号	214-218	2004.04
長谷川雅一, 市村正 一, 里見和彦, 寶亀 登, 中川智之, 児玉 隆夫	骨粗鬆症性椎体骨折患者の 骨吸収マーカー(1型コラー ゲン N テロペプチド:NTX)の 変化	日本整形外科学 会雑誌	78巻8号	S1061	2004.08
市村正一, 里見和彦	病態と治療-基礎からみた進 歩 骨粗鬆症 骨粗鬆症に おける骨代謝マーカーの発 展と臨床応用	日本整形外科学 会雑誌	78巻8号	S970	2004.08
市村正一, 小川潤, 里見和彦, 朝妻孝仁	骨吸収マーカーによるビス フォスフォネート治療の早 期効果判定	日本脊椎脊髄病 学会雑誌	15巻1号	330	2004.05
長谷川雅一, 市村正 一, 里見和彦, 寶亀 登, 児玉隆夫, 中川 智之	骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折の 保存療法における X 線像の 検討	日本脊椎脊髄病 学会雑誌	15巻1号	192	2004.05
市村正一	骨粗鬆症の薬物療法, その選 択と効果判定骨粗鬆症治療 のモニターと効果判定 骨 代謝マーカーの利用法	整形・災害外科	47巻4号	327-336	2004.04
紺野慎一, 菊地臣一	【最新腰部脊柱管狭窄症診 療マニュアル】腰部脊柱管 狭窄症の概念と分類	Orthopaedics	17巻5号	1-5	2004.05
菊地臣一	【診療ガイドラインの方向 性, 臨床に役立つガイドラ インとは】腰部椎間板ヘル ニア 海外の診療ガイドラ インの動向	臨床整形外科	39巻8号	1053-1056	2004.08
菊地臣一	【腰椎椎間板ヘルニアの診 療ガイドライン】海外の腰 痛診療ガイドライン策定の 考え方.	脊椎脊髄ジャー ナル	17巻10号	945-950	2004.10
紺野慎一, 菊地臣一	臨床研究に必要な Study Design 腰痛関連モデルの 開発とアウトカムの検討	日本整形外科学 会雑誌	78巻8号	S941	2004.08
別所雅彦, 大西五三 男, 佐藤和強, 松山 順太郎, 岡崎裕司, 中村耕三	CT を利用した有限要素法に よる大腿骨頸部の強度・骨 折部位評価	日本整形外科学 会雑誌	78巻4号	S429	2004.04
紺野慎一, 菊地臣一	最新腰部脊柱管狭窄症診療 マニュアル-腰部脊柱管狭窄 症の概念と分類	Orthopaedics	17巻5号	1-5	2004.05

星野優子, 小森博達, 川端茂徳, 大久保治 修, 富澤将司, 四宮 謙一	脊髄虚血障害, 冷却時の脊 髄誘発電位および誘発筋電 図の変化-大動脈置換術症例 の術中モニタリングにおけ る検討	日本整形外科学 会雑誌	78 卷 8 号	S899	2004. 08
久留水彩, 小森博達, 川端茂徳, 大久保治 修, 福岡優子, 富澤 将司, 四宮謙一	胸椎及び胸腰移行部手術例 における術前下肢運動機能 評価と術中下肢誘発筋電図 との関連	日本脊椎脊髄病 学会雑誌	15 卷 1 号	163	2004. 05
Sakai D, Mochida J, Iwashina T, Watanabe T, Suyama K, Ando K, Hotta T.	Atelocollagen for culture of human nucleus pulposus cells forming nucleus pulposus-like tissue in vitro: influence on the proliferation and proteoglycan production of HNPSV-1 cells. Biomaterials.	Biomaterials.	27(3)	346-53	2006. 1
Sakai D, Mochida J, Iwashina T, Hiyama A, Omi H, Imai M, Nakai T, Ando K, Hotta T	Regenerative effects of transplanting mesenchymal stem cells embedded in atelocollagen to the degenerated intervertebral disc	Biomaterials	27(3)	335-45	2006. 1
武政龍一, 山本博司 、谷俊一、北岡謙一	生体活性リン酸カルシウム 骨ペーストの椎体内注入補 填による骨粗鬆症性椎体骨 折修復術	日整会誌	7	237-242	2004. 4
武政龍一、溝淵弘夫 、谷俊一	リン酸カルシウム骨セメン トによる骨欠損部の注入療 法 -主として骨粗鬆症性椎 体骨折について-	関節外科	23	91-98	2004. 5
武政龍一	リン酸カルシウム骨セメン トを使用した骨粗鬆症性椎 体骨折の治療	整形外科最小侵 襲ジャーナル	33	21-28	2004. 9
武政龍一、谷俊一、 北岡謙一、喜安克仁 、山本博司	神経症状を有する骨粗鬆症 性椎体圧潰に対するリン酸 カルシウム骨セメントを用 いた後方侵入前後同時再建 術	中部日本整形外 科災害外科雑誌	47	673-674	2004. 9
武政龍一、溝淵弘夫 、谷俊一、山本博司	リン酸カルシウム骨ペース ト椎体内注入術の長期経過.	第 4 回バイオア クティブペース ト研究会論文記 録集	4	86-90	2004. 9
喜安克仁、武政龍一 、溝淵弘夫、谷俊一 、山本博司	リン酸カルシウム骨セメン ト椎体内注入術を施行した 3 年以上経過例の検討	中四整会誌	16	277-282	2004. 8

武政龍一、溝渕弘夫、喜安克仁	生体材料—この 10 年の進歩 . 我々の使用経験からみたり リン酸カルシウム骨セメント の評価	骨・関節・靭帯	17	1185-1194	2004. 8
武政龍一	脊椎脊髄外科基本手技 Q&A: リン酸カルシウム骨セメント を使用した椎体形成術に ついて	脊椎脊髄	17	1164-1167	2004. 8
武政龍一	座談会「脊椎外科における 人工骨、人工椎間板」	THE SPINE perspective	4	1-6	2004. 11
Takemasa R, Yamamoto H, Tani T, Kitaoka K	Calcium phosphate cement kyphoplasty with instrumentation for thoracolumbar ischemic vertebral collapse with spinal cord compression	The Spine Journal	5	79-80s	2005. 2
Takemasa R, Yamamoto H, Tani T, Kitaoka K	Calcium phosphate cement vertebroplasty with pedicle screw fixation for osteoporotic thoracolumbar vertebral collapse with spinal cord compression	European Spine Journal	14	57s	2005. 3
武政龍一、谷俊一、 溝渕弘夫、喜安克仁 、山本博司	骨粗鬆症性椎体骨折に対す るバイオアクティブペース ト椎体内注入術の臨床成績	第 5 回バイオア クティブペース ト研究会論文記 録集	5	78-84	2005. 9
武政龍一、谷俊一、 喜安克仁、山本博司	高齢者骨粗鬆症性椎体骨折 偽関節に対するリン酸カル シウム骨セメントを用いた 椎体形成術	骨・関節・靭帯	18	425-434	2005. 10
武政龍一	リン酸カルシウム骨セメン ト（CPC）を用いた脊椎椎体 骨折の外科治療	Journal of Clinical Rehabilitation	14	1021-1025,	2005. 10
武政龍一	骨粗鬆症性椎体骨折偽関節 に対するリン酸カルシウム 骨セメントを用いた椎体形 成術	The Spine Perspective	4	10-14	2005. 10
武政龍一、谷俊一、 喜安克仁、北岡健一 、山本博司	骨粗鬆症性椎体骨折および 偽関節に対するリン酸カル シウム骨セメントを用いた 椎体形成術	中部日本整形外 科災害外科雑誌	48	869-870	2005. 11